

発行 岸和田市議会
編集「議会だより」編集委員会
TEL423-9667 (直通)

(市議会ホームページ <http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/gikai/>)



第3回例会

平成22年度決算を認定
ケーブルテレビによる議会生中継を開始

平成23年第3回定例会は、8月26日に開会し、9月13日までの19日間開催しました。22年度一般会計など4件の決算を認定し、人事案件や補正予算などの議案13件を承認・同意・可決しました。議員からは、意見書1件を提案し、可決しました。また、市民へより積極的に情報発信するため、ケーブルテレビによる一般質問の生中継を開始しました。

定例会の概要

第3回定例会は、8月26日に本会議を開会し、まず、監査結果などの報告の後、

22年度各会計決算の認定議案を議題とし、議長指名の12人の委員(最段左参照)からなる決算特別委員会を設置のうえ、審査を付託しました。次に、専決処分について承認し、市有功者の

表彰について同意しました。続いて、二の丸広場に観光交流センターを設置するための条例など9件の議案が提案され、関係する常任委員会に審査を付託しました。

その後の一般質問では、10人の議員が市の重要課題について、理事者の見解をたずねました。

8月31日から9月2日まで開いた各常任委員会では、付託議案の審査や所管事項について理事者の見解をたずねました。

なお、31日の文教民生常任委員会では、市立城東保育所を民営化する議案第60号で、次の主旨の反対討論がありました。

「きしわだ行財政再生プランでは、21年度、22年度



「カーネーション」を題材にしたパネルと洋裁コシノを再現したギャラリー

決算特別委員会では、9月5日に大綱説明を受け、6日の関係書類の閲覧を経て、7日から3日間審査を行い、13日の本会議で委員長報告を行いました。

委員長報告(要旨)

本市の財政は、市税が平成21年度に続き減少する一方で、扶助費が大幅に増加し、苦しい状況を余儀なくされたが、人件費の削減やごみの有料化、民間活力の導入などにより、21年度に引き続き黒字決算とすることが

できた。チビッコホームの開設時の延長、乳幼児医療助成の拡充、石畳と淡い街灯まちづくり事業の推進、防災行政無線の更新、小・中学校、幼稚園の耐震化など、市民福祉の向上に寄与していることを評価し、認定することを決定した。

各会計の決算
特別委員会で審査

起立表決の結果、賛成多数で原案を可決しました。5日から9日まで開いた決算特別委員会では、22年度決算に対し、健全な財政運営を堅持し、効率的・効果的な執行がなされたかどうか主に目を置き、慎重な審査を行いました。

次に、議案第60号について、文教民生常任委員長から審査結果の報告の後、常任委員会と同一主旨の反対討論がありました。

起立表決の結果、賛成多数で原案を可決しました。続いて、上水道・下水道・病院の各事業会計の決算認定議案について、決算特別委員長から審査結果の報告の後、満場一致で認定しました。

その後、議員から「大阪府民の医療を守る意見書」(下段中央参照)を提案し、満場一致で可決しました。最後に、文教民生常任・総務常任・議会運営委員会は閉会中も継続して調査することを決定し、閉会しました。

実施にあたり市民が混乱しないよう十分な啓発を。▽保育所の民営化、小学校給食の民間委託の中止を。事業全般にPDCAサイクルを働かせ、より効率的な事業展開を。▽社会的弱者へのしわ寄せがない行財政プランの構築を。

▽市民生活に即した事業の優先順位評価、事業見直しで徹底した無駄の排除を。▽業務委託などの発注で、事業担当課以外が評価、点検できるシステムを。▽事務事業と細事業は事業費が0円のものを含め、目的や業務内容に即した

整理を。▽職員の専門性を高める組織作りや、管理職登用の明確な基準作りを。▽不納欠損金、滞納繰越金の発生防止に万全を。▽市民との協働によるまちづくりの推進を。

▽後期高齢者医療制度、介護保険事業では、低所得者の負担に十分配慮を。▽効率的、効果的な行財政運営に努め、活力あるまちづくりを。▽病院事業では黒字の追求だけでなく、市民から信頼される病院運営を。▽市民病院内に助産所を早急に開設し、出産できる体制の整備を。

議会を傍聴しませんか
第4回定例会予定

傍聴される人は、当日、市役所新館3階議会受付へお越しください。

- ▶12月7日(水) 本会議
- ▶12月8日(木) 本会議
- ▶12月12日(月) 文教民生常任委員会
- ▶12月13日(火) 事業常任委員会
- ▶12月14日(水) 総務常任委員会
- ▶12月15日(木) 本会議

※いずれも午前10時開会の予定です。
※日程は、変更される場合があります。

議員提案により可決した
意見書を大阪府知事に提出

大阪府民の医療を守る意見書(要旨)

府は、府立泉州救命救急センターの地方独立行政法人化などの計画を打ち出し、第3次救命救急医療から撤退しようとしている。府が救命救急から撤退し、補助金を廃止すると、救命救急はもとより病院運営まで困難になることは明らかで、周辺地域での救命医療が弱体化する恐れがある。よって、本市議会は次の事項を府に要望する。

- ①府立泉州救命救急センターへの補助金の廃止・削減を行わず、第3次救命救急医療に責任を持つこと。
- ②泉州2次医療圏の医師・看護師確保の具体的な策を講ずること。

決算特別委員名簿

- ◎委員長 中井良介
- 副委員長 友永修
- 河合哲
- 京西且
- 松本妙子
- 池内啓一
- 池田悦治
- 石田太郎
- 山田幸夫
- 小川和夫
- 村野精